

平成30年度

ひょうご環境保全創造活動支援助成金

募集案内



公益財団法人 ひょうご環境創造協会
Hyogo Environmental Advancement Association

目 次

ひょうご環境保全創造活動助成金について	1
平成 30 年度 ひょうご環境保全創造活動助成金交付手続の流れ	4
(1) スタートアップ支援助成について	5
(2) 環境保全創造事業助成について	6
(3) 環境パートナーシップ事業助成	7
ひょうご環境保全創造活動助成の概算払・報告等について	8
各申請書記入例	9

<ひょうご環境保全創造活動支援助成金 申請様式>

(様式 1) ひょうご環境保全創造活動助成金交付申込書	20
(様式 2) 団体のプロフィール	23
(様式 3) 平成 30 年度環境保全創造事業収支予算内訳書	25
(様式 4) 平成 29 年度収支決算内訳書(見込み)	26
(様式 5) ひょうご環境保全創造活動助成金支払(概算払)請求書	27
(様式 6) ひょうご環境保全創造活動助成 活動実績報告書	28
(様式 7) ひょうご環境保全創造活動実施内容書	29
(様式 8) 平成 30 年度事業収支決算内訳書	31
(様式 9) ひょうご環境保全創造活動助成金支払(精算払)請求書	32
(様式 10) ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書(ホームページ掲載用)	33

【 ひょうご環境保全創造活動助成について 】

1. はじめに

ひょうご環境保全創造活動助成金の交付の対象となる活動は、ひょうご環境保全創造活動助成金交付要綱に基づき毎年度公募し、県内の有識者からなるひょうご環境保全創造活動助成選考委員会の意見を聞いて決定します。助成の対象となる団体等や活動の要件及び応募の手續きについてこの案内をご覧の上助成金交付申込書を作成し、そのほかの必要な書類とともに下記の受付期間内に提出してください。

2. 助成対象期間

助成の対象となる活動の実施期間は平成30年4月1日から平成31年3月31日までとします。

複数年度にまたがる事業を計画する場合でも、当該年度に行う事業のみを申請書に記入し、毎年度申請していただきます。

3. 助成の対象となる団体

助成金の交付の対象となる団体は、次の条件をすべて満たす団体です。

- (1) 県内に活動の本拠を有すること。
 - (2) 活動区域が主に県内であること。
 - (3) 会則をもち、団体の代表者が決まっているなど、活動を適正に行える組織が確立していること
- ◆今後団体をつくり新たに活動を行おうとする方は、上に記載する各項を予定しておれば応募が可能です。

4. 助成の種類と助成対象活動

(1) スタートアップ支援助成

県内で環境保全創造活動を行う団体を立ち上げようとする者、及び団体を立ち上げてから2年未満の団体が、その団体を立ち上げ、維持運営するための活動及び実践的活動。

(2) 環境保全創造事業助成

県内で概ね2年以上継続して環境保全創造活動を行っている団体の実践的活動。

- ◆発足から2年未満の団体でも、任意団体を含めて継続した活動期間が2年以上ある団体は、(2)環境保全創造事業助成、(3)環境パートナーシップ事業助成の申請区分で申込みができます。

(3) 環境パートナーシップ事業助成

県内で環境保全創造活動を行っている団体が、企業・大学・行政・NPO等と協働で実施しようとする活動。なお、助成を申請しようとする事業についてパートナー(企業・大学・行政・NPO等)と連名で申請する必要があります。

助成は当協会の予算の範囲内で行うため、全体の応募件数によっては、助成の要件を満たす団体・活動であっても助成できない場合やご希望額から減額して助成することがあります。

助成する団体・活動、金額は、活動の効果の大きさや、その活動に要する費用、申込団体の予算額、今後の活動計画などを参考にして、ひょうご環境保全創造活動助成選考委員会で審査の上決定します。

なお、対象経費の詳しい情報は各助成のページ(5～7ページ)をご覧ください。

各助成の助成額、対象経費に対する助成可能期間と回数

制度名 (助成対象経費)	助成額(上限)	＜助成可能期間＞					1団体の助成可能回数
		団体設立	1年	2年	3年	4年	
(1)スタートアップ支援助成 環境保全創造活動を行う団体を立ち上げ、又は立ち上げた団体を維持運営するために必要な事務費・経費	20万						2年まで
(2)環境保全創造事業助成 環境保全創造活動を行っている団体が、その実践的活動を行うために必要な経費	30万						3回まで
(3)環境パートナーシップ事業助成 環境保全創造活動を行っている団体が、企業・NPO等と協働事業を実施するのに必要な経費	30万						1団体3回まで

5. 助成対象にならない活動

環境保全創造活動が目的であっても、次のような活動は対象となりません。

- ・活動が政治的又は宗教的宣伝を目的としたもの。
- ・特定の事業者の事業上の利益のために行われる活動。
- ・他の団体等への資金の補助、助成等を内容とする活動。
- ・貸付、融資、出資その他により助成に係る資金の回収が見込まれる活動。
- ・その他民間団体が担うにふさわしくないと認められる活動。
- ・清掃美化活動や緑化活動(花いっぱい運動等)など、単なる生活環境の快適性向上のための活動
- ・科学的根拠のない技術を使った普及活動

6. 助成の対象とならない経費

各助成ごとに対象とならない経費は異なりますが、以下に示した経費はどの助成においても助成対象経費となりませんのでご注意ください。

- (1) 専門的知識・技術を提供する外部講師・指導員以外の人件費・謝金
- (2) 飲食にかかる経費
- (3) 当協会で開催する他の支援事業との併用は認められません。(出前環境教室、エコフェスティバル出展助成、エコツーリズムバス等)

7. 応募受付期間

平成30年1月15日(月)～2月7日(水)〈必着〉

- ・申込書は必ず応募受付期間内にご提出ください。
- ・結果については、4月末までに文書で通知します。

8. 応募方法

申請用紙の指定様式は当協会ホームページ

(URL: <http://www.eco-hyogo.jp/>/(公財)ひょうご環境創造協会 HP→環境学習／活動支援→ひょうご環境保全創造活動支援助成金) よりダウンロード(MicrosoftWord 文書)ができます。

応募は、必要書類を郵送か(公財)ひょうご環境創造協会への持参(要事前連絡)によって期限内に提出してください

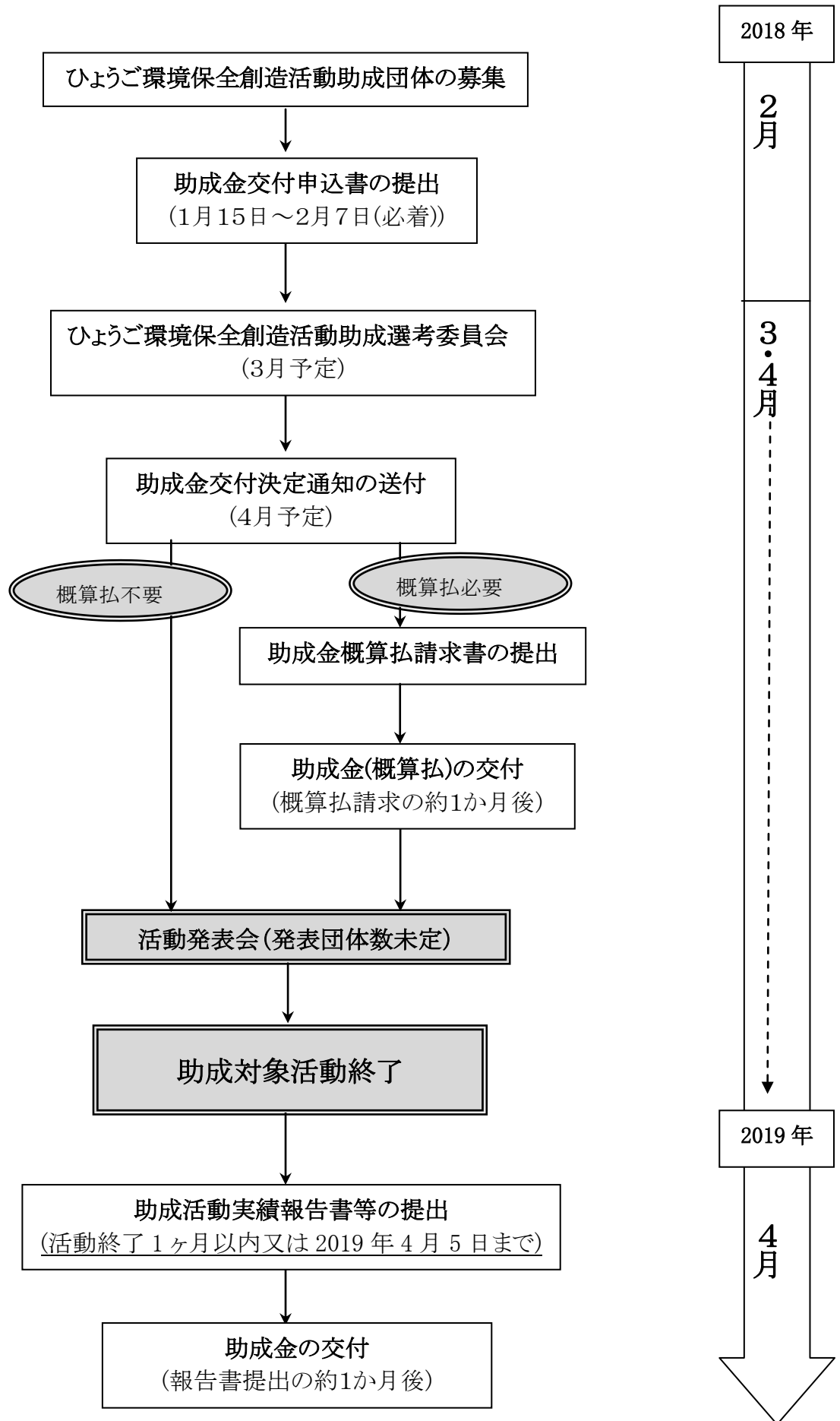
また、必要電子ファイルは、ecoplaza@eco-hyogo.jp宛てにメール添付してください。

9. 注意事項

- (1)1団体につき1つの助成しか応募できません。
- (2)環境保全創造活動助成金交付申込書は選考にあたって重要な資料となりますので、十分にご検討の上、申請内容がよくわかるように作成してください。
- (3)助成金交付決定後及び助成金交付後、助成活動の内容又は収支予算に重大な変更が生じた場合、申込内容に虚偽・不正の事実があった場合等は、助成金を交付できません。また、既にお支払いした助成金を返還していただきます。
- (4)助成金の交付の目的を達成するために、必要があるときは助成対象となった団体に対し報告を求め、団体の帳簿書類などを調査し、必要な指示を行うことがありますのでご注意ください。
- (5)助成が決定した場合は、活動を行う際や作成物・報告書等を作成する際に、この助成制度の支援を受けている旨を明示していただきます。(例:「(公財)ひょうご環境創造協会助成金事業(を活用しました。)」等を記載。)
- (6)助成を受けた全ての団体は、実績報告時に支出内容を証する書類(請求書、領収書等)(コピー可)を提出いただくこととしていますので、ご注意ください。
- (7)当事業の助成を受けた団体は、別途開催する「発表会」等で活動報告をしていただく場合があります。

なお、提出された書類は返却しませんので、ご了承ください。

平成30年度 ひょうご環境保全創造活動助成金交付手続の流れ



【 (1)スタートアップ支援助成について 】

1. 対象となる活動

県内で環境保全創造活動を行う団体を立ち上げるための活動、及び団体を立ち上げてから2年未満の団体がその団体を維持運営するための活動及び実践的活動。

2. 助成金の額・助成年数

- ・上限 20万円
- ・1団体につき2年まで

3. 対象となる経費

1)団体を立ち上げ、維持運営するための活動

- * 組織立ち上げ準備にかかる費用 ……資料作成費、会場使用料、交通費、そのほか会合を開く際にかかる諸経費など
- * 事務所環境作り ……環境活動を行うための備品など
- * 事務管理費 ……郵券代、通信費、消耗品費、コピー代など
※団体としての利用分が明確に示せない通信費(電話、インターネット)は対象外です。
- * その他活動準備費 ……環境啓発資材・物品購入費、広報印刷費など

2)実践的活動 → 環境保全創造活動助成に同じ

4. 応募方法

応募には、下記の①～⑥の書類と⑦の電子ファイル(メール添付)が必要です。

- ① ひょうご環境保全創造活動助成金交付申込書 スタートアップ支援助成申込書 (様式1)
※新しく団体をつくる方は、どのような団体をつくり、どのような活動を行っていきたいのかについて、その時期も含めて詳しく記入してください
- ② 団体のプロフィール (様式2)
- ③ 平成30年度収支予算内訳書(様式3)
※収支予算は、できるだけ様式1の事業内容に沿って記載して下さい。(例:費用項目で「会員募集ちらし作成費用」が計上されていれば、様式1の事業内容に「会員募集を行う」などの記載。)
- ④ 平成29年度収支決算内訳書(様式4)
※様式はそれぞれの団体で普段作成しているものでも結構です。
※平成29年度から平成30年度への繰越額を助成対象事業に使わない場合は、その使途計画を説明して下さい(様式自由)
- ⑤ 団体の会則又は規約
- ⑥ 団体の日頃の活動の様子がわかる資料。(例:新聞記事、市町広報紙、機関紙、イベントで使ったチラシ、写真など。)A4サイズにして2～3枚(多くは不要)。
④⑥はこれから団体を作って活動を行おうとする場合は不要です。
⑤がない場合は、この機会に作成ください。
※応募後、活動内容等を把握するため、追加で資料提出をお願いする場合があります。
- ⑦ wordファイル(様式1)(様式2)

5. 申請する時の注意点

(1)スタートアップ支援助成は、助成希望額の1/2以上の自己資金(他の助成金は含まない)を有していることが必要です。

【 (2)環境保全創造事業助成について 】

1. 対象となる活動

県内で概ね2年以上継続して環境保全創造活動を行っている団体の実践的活動。

2. 助成金の額・助成回数

- ・上限 30 万円
- ・1団体につき3回まで

3. 対象となる経費

- *活動実践のための事務費 …… 郵券代、通信費、運搬費、消耗品費、コピー代等
- *活動実践のための費用 …… 専門的知識・技術を提供する外部講師・指導員の人件費・謝金(助成額は 20 千円/人・日を上限とする)、会場使用料、活動実践品・啓発資材の購入・制作費など
- *広報等にかかる費用 …… 広報紙・チラシの作成、郵送費など

(注)通勤手当に相当する旅費・交通費は対象外です。団体としての利用分が明確に示せない通信費(電話、インターネット)は対象外です。

(注)組織の維持管理に関する費用については対象外です。

4. 応募方法

応募には、下記の①～⑥の書類と⑦の電子ファイル(メール添付)が必要です。

- ① ひょうご環境保全創造活動助成金交付申込書 環境保全創造事業助成申込書 (様式1)
- ② 団体のプロフィール (様式2)
- ③ 平成 30 年度環境保全創造事業収支予算内訳書 (様式3)
※収支予算は、できるだけ様式1の事業内容に沿って記載してください。(例えば、費用項目で「会場費」があがっておれば会場を使用して実施する何らかの事業があるはずです。)
- ④ 平成 29 年度収支決算内訳書(様式4)
※様式はそれぞれの団体で普段使っているものでも結構です。
※継続事業を申請する場合は当該事業と団体全体の収支決算内訳書を、初めての事業を申請する場合は団体全体の収支決算内訳書を提出してください。
※団体全体の収支決算を含めて、平成 30 年度への繰越額を助成対象事業に使わない場合は、その使途計画を説明してください。
(様式自由)
- ⑤ 団体の会則又は規約
- ⑥ 団体の日頃の活動の様子がわかる資料。(例:新聞記事、市町広報紙、機関紙、イベントで使ったチラシ、写真など。)A4サイズにして2～3枚(多くは不要)。
- ⑦ wordファイル(様式1)(様式2)

※応募後、活動内容等を把握するため、追加で資料提出をお願いする場合があります。

5. 申請する時の注意点

- (1)環境保全創造事業助成は、対象となる1事業のみに対する助成です。

【 (3)環境パートナーシップ事業助成について 】

1. 対象となる活動

県内で環境保全創造活動を行っている団体が、企業・大学・行政・NPO等と協働で実施しようとする活動。なお、助成を申請しようとする事業についてパートナー(企業・大学・行政・NPO等)と連名で申請する必要があります。

2. 助成金の額・助成回数

- ・上限 30万円
- ・1団体につき3回まで

3. 対象となる経費

- * パートナーとの打合せ経費 ……打合せ事務費
- * 活動実践のため事務費 ……郵券代、通信費、運搬費、消耗品費、コピー代等
- * 活動実践のための費用 ……専門的知識・技術を提供する外部講師・指導員の人件費・謝金(助成額は20千円/人・日を上限とする)、会場使用料、活動実践品・啓発資材の購入・制作費など
- * 広報等にかかる費用 ……広報紙・チラシ作成費、郵送費など

(注)他団体等と協働で行う事業にかかる経費に対する助成であり、組織の維持管理に関する費用は対象外です。

4. 応募方法

応募には、下記の①～⑥の書類と⑦の電子ファイル(メール添付)が必要です。

- ① ひょうご環境保全創造活動助成金交付申込書 環境パートナーシップ事業助成申込書(様式1)
- ② 各団体のプロフィール (様式2)
※事業を行う団体全てのプロフィールを提出してください。
- ③ 各団体の設立趣旨書、定款又は会則等団体の目的を記したもの
- ④ 平成30年度環境保全創造事業収支予算内訳書 (様式3)
※収入はどこがいくら出すのかを詳しく記入してください。
- ⑤ 平成29年度収支決算内訳書(様式4)
※継続事業を申請する場合は、当該事業と、各団体ごとに団体全体の収支決算内訳書を提出してください。
※様式はそれぞれの団体で普段使っているものでも結構です。
※団体全体の収支決算を含めて、平成30年度への繰越額を助成対象事業に使わない場合は、その用途計画を説明して下さい(様式自由)
- ⑥ 各団体の日頃の活動の様子ที่わかる資料。(例:新聞記事、市町広報紙、機関誌、イベントで使ったチラシ、写真など。)A4サイズにして2～3枚(多くは不要)。
- ⑦ wordファイル(様式1)(様式2)
※応募後、活動内容等を把握するため、追加で資料提出をお願いする場合があります。

5. 申請する時の注意点

- (1) 申請する団体とパートナーとなる団体の連名で応募してください。
- (2) 申請団体とパートナーとなる団体が協働する事業が対象となります。
- (3) 申請にあたっては、従前から行っている団体の事業にパートナーが関わることによってその専門性を活かし、よりレベルの向上を図るような活動であることが重要です。
- (4) 企業と協働する場合は、営業活動を促進するものとならないものであることが分かるように計画書の中で説明してください。

【ひょうご環境保全創造活動助成の概算払・報告等について】

1. 概算払いについて

助成決定後、助成対象活動が終了するまでに、助成金決定額の5割までを予め支払うことが可能です。「ひょうご環境保全創造活動助成金支払(概算払)請求書(様式 5)」に記入して申請してください。

※(3)環境パートナーシップ事業助成の場合は、連名で申請してください。

2. 活動終了後の報告について

ひょうご環境保全創造活動助成金の報告書は、活動が終了後 1 ヶ月以内又は翌年度の4月5日のいずれか早い方の期間内に指定の様式で提出してください。

3. 報告の際に提出するもの

- ① ひょうご環境保全創造活動助成 活動実績報告書(様式 6)
- ② ひょうご環境保全創造活動実施内容書(様式 7)
※(3)環境パートナーシップ助成の場合は、上記の書類に加え、様式 7 については、その 2 をパートナーの全ての団体が提出してください。(様式 7 その 2)
- ③ 事業収支決算内訳書(様式 8)
- ④ ひょうご環境保全創造活動助成金支払(精算払)請求書(様式 9)
- ⑤ ひょうご環境保全創造活動助成活動報告書(ホームページ原稿用)(様式 10)とその電子ファイル
- ⑥ 活動の様子を写した写真+その電子データ(JPEG 形式)
※写真は、当協会の判断により印刷物、インターネットホームページ等で使用させていただきますので、それらに差し支えない写真を提出してください。
- ⑦ 請求書・領収書のコピーなど支出を証明する書類
※精算報告では、助成対象経費にかかる支出内容を証する書類(請求書、領収書等)(コピー可)の提出が必要です。なお、請求書・領収書等は、助成対象経費に該当する助成額以上のもので結構です。なお、提出いただいた請求書、領収書等は平成 30 年度事業収支決算内訳書(様式 8)の領収書番号と対比させて番号を整理するとともに、内訳(内容、用途、数量、単価)を必ず記入して(メモ書き)ください。なお、提出された資料は返却できませんので、ご了承ください。
- ⑧ 活動の様子ที่わかる資料(新聞記事・イベントで使ったチラシ等)
- ⑨ 助成金で作成したもの、購入したもので概ね1万円以上のもものは現物(の一部・印刷物等)またはその写真

各申請書記入例

(スタートアップ支援助成：記入例)

様式1(第5条関係)

その1

平成30年度 ひょうご環境保全創造活動助成金交付申込書

平成30年1月10日

(公財)ひょうご環境創造協会理事長 様

下記の環境保全創造活動を行いたいので、ひょうご環境保全創造活動助成金交付要綱第5条の規定に基づき(スタートアップ支援助成)助成金の交付を申し込みます。

	整理番号	(記載不要)
事業名	〇〇森づくりを支援する市民組織の立ち上げ	
要望金額	200千円	

No	申請する団体		
1	(フリガナ) 団体名	(カショウ)〇〇ノモリツクrouカイ (仮称)〇〇の森をつくろう会	代表者氏名 会長 △△ ×× 印

No	パートナーとして事業を行う団体 (環境パートナーシップ事業助成以外は記載不要)		
2	(フリガナ) 団体名		代表者氏名 印
3	(フリガナ) 団体名		代表者氏名 印

事業の趣旨・目的	<p>平成〇年 8 月に発足した市民・企業・行政の参画と協働による「〇〇の森づくり協議会」において、12月から「森」「まちづくり」「産業」「発信」の4つの部会に分かれて市民主体の活動を開始しており、現在は行政が事務局を担って運営しているが、市民がより主体的・戦略的に森づくりに関与していくためには、市民活動の組織を立ち上げ、その組織が事務局の一部を担うことで、「森づくり協議会」の運営にも参加していく必要がある。</p> <p>そこで、市民によって構成されるマネジメントグループが発足し、森づくりにおける「(仮称)〇〇の森をつくろう会」の検討を開始した。</p>
----------	---

事業内容	<p>◆市民組織の立ち上げ準備活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の目的、役割を部会参加メンバーの意向も確認しながら、ふさわしい組織形態の検討 ・活動拠点の確保 ・森づくり協議会への諮問 ・組織設立申請書類のための資料作成・準備 ・市民からの寄付金や会費等の募集 <p>◆組織立ち上げ後の活動概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①森づくり協議会での、主体的・戦略的役割を担い、事業を実施していく。 ②森づくり活動の財政基盤の確立を図るため、助成金や補助金への応募や、企業や市民からの寄付金や会費等の受け皿確保 ③まちづくり、産業、発信の横断的活動支援、参画と協働の仕組みづくりの検討
今年度(30年度)の活動により期待出来る環境保全創造効果	森づくり協議会の4部会のそれぞれの活動を横断的に支援し、またこのような活動の輪を広げていくことで、緑化によるCO2削減や森づくりによる環境学習等の機会の創出、自然エネルギーを利用した産業の整備等から、水と緑の豊かな自然環境の創出による環境共生型の街づくりが期待できる。
次年度(31年度)以降の活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・森づくり協議会での市民事務局としての役割を軌道に載せるため、財政基盤を固め、活動の幅を広げていく ・会報誌の発行を検討していく ・HPの公開を行い、情報発信をおこなう。
補助金を必要とする理由	市民組織を立ち上げるために、今後会費収入や寄付金等により活動費を生み出す努力をしていくが、現段階では活動資金がほとんどないため、貴協会のスタートアップ支援助成を必要とする。
他の団体に対する補助金等申請(予定)の有無	<p>団体名・助成名</p> <p>無し</p>
担当者及び助成通知文書やその他の郵便物の送付先	<p>〒671-〇〇〇〇 (郵便物が届くように記載してください)</p> <p>〇〇市△△町〇〇〇</p> <p>電話番号 〇〇〇- 〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail 〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇</p> <p>団体名・部署・役職名 会長</p> <p>氏名 △△ ××</p>
過去にひょうご環境保全創造活動助成金を受けたことがある場合 平成 年度の助成を受けた(全てを記載して下さい)	

【注1】申込書は全項目記載して下さい。なお、「別紙参照」などはせず、要点を絞った上で出来るだけ枠内に収めて下さい。

【注2】担当者欄は、申請内容についての問い合わせに対応ができ、通常の勤務時間(平日の概ね午前9時～午後5時)に連絡がとれる方とその連絡先を記入して下さい。

【注3】この申請書に記載された個人情報、本事業以外の目的で使用することはありません。

(環境保全創造事業助成:記入例)

その1

様式1(第5条関係)

平成30年度 ひょうご環境保全創造活動助成金交付申込書

平成30年1月10日

(公財)ひょうご環境創造協会理事長 様

下記の環境保全創造活動を行いたいので、ひょうご環境保全創造活動助成金交付要綱第5条の規定に基づき(環境保全創造事業助成)助成金の交付を申し込みます。

	整理 番号	(記載不要)
事業名	雪山子どもエコツアー	
要望金額	200千円	

No	申請する団体		
1	(フリガナ) 団体名	エコツアーエトリウム〇〇ノカイ エコツアーに取り組む〇〇の会	代表者氏名 会長 △△ ×× 印

No	パートナーとして事業を行う団体		
2	(フリガナ) 団体名	(環境パートナーシップ事業助成以外は 記載不要)	代表者氏名 印
3	(フリガナ) 団体名		代表者氏名 印

事業の趣旨・目的	雪山での自然観察や体験学習等を通して、自然に関心を持ち、子どもたちの自然環境保全意識を高めることを目的とする。 また体験学習を通し、自分たちの生活地域との違いについて考えることを目的とする。
----------	--

申請団体名：エコツアーに取り組む〇〇の会

事業内容	<p>開催日時：平成〇年〇月〇日 10時～〇月〇日 17時</p> <p>場所：〇〇〇〇</p> <p>講師：環境カウンセラー 代表 〇〇〇〇氏</p> <p>サポーター：〇名（〇〇〇〇氏、〇〇〇〇氏、〇〇〇〇氏）（予定）</p> <p>対象：小学4年生～中学3年生</p> <p>募集人数：40名</p> <p>主催（予定）：エコツアーに取り組む〇〇の会</p> <p>後援（予定）：〇〇〇〇</p> <p>プログラム内容：</p> <p>テーマ『雪の扉を開けに行こう！』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪山での自然観察の実施 ・雪山にすむ足跡探し ・雪山でのナイトハイク ・雪の性質を学ぶとともに、雪の不思議や秘密についてのクイズ ・現地の住民から昔の雪国についての暮らしについての話を聞き、雪についての工夫や知恵を学ぶ <p>運営：プログラムの運営は事前にサポーター研修を行い、そこで企画、検討されたプログラムを実施する。</p>
今年度（29年度）の活動により期待出来る環境保全創造効果	<ul style="list-style-type: none"> ・雪を通しての自然の仕組みを学び自然保護の必要性を感じる事が出来る。 ・自然界での動植物の実態を知ることにより、自然の一部としての人間の位置を理解し、環境の必要性を理解する。 ・実体験を通し、自らの生活習慣を考えなおす機会とする ・今回の指導者は、当会の別のイベント又は別の団体の環境学習指導者として活躍してもらう
次年度（30年度）以降の活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の反省点を活かし、次年度も雪山子どもエコツアーを開催予定 ・サポーターの経験を別の形で生かしてもらうため、季節・場所の違う環境学習イベントを企画する。
補助金を必要とする理由	<p>当事業の収入は、参加費と当団体の会費である。</p> <p>また、当事業の対象者は子どもであり、参加費だけの運営は難しい。</p> <p>当事業をより広域的かつ充実した内容とするためにも、貴協会からの助成を必要とするものである。</p>
他の団体に対する補助金等申請（予定）の有無	<p>団体名・助成名</p> <p>地元企業・団体から寄付金50,000円を得る予定</p> <p>〇〇〇助成金</p>
担当者及び助成通知文書やその他の郵便物の送付先等	<p>〒671-〇〇〇〇 (郵便物が届くように記載してください)</p> <p>〇〇市△△町〇〇〇</p> <p>電話番号 〇〇〇- 〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail 〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇</p> <p>団体名・部署・役職名 会長</p> <p>氏名 △△ ××</p>
<p>過去にひょうご環境保全創造活動助成金を受けたことがある場合</p> <p>平成 年度の助成を受けた（全てを記載して下さい）</p>	

【注1】申込書は全項目記載して下さい。なお、「別紙参照」などとはせず、要点を絞った上で出来るだけ枠内に収めて下さい。

【注2】「担当者」欄は、申請内容についての問い合わせに対応ができ、通常の勤務時間（平日の概ね午前9時～午後5時）に連絡がとれる方とその連絡先を記入してください。

【注3】この申請書に記載された個人情報、本事業以外の目的で使用することはありません。

(環境パートナーシップ事業助成:記入例)

様式1(第5条関係)

その1

平成30年度 ひょうご環境保全創造活動助成金交付申込書

平成30年1月10日

(公財)ひょうご環境創造協会理事長 様

下記の環境保全創造活動を行いたいのので、ひょうご環境保全創造活動助成金交付要綱第5条の規定に基づき(環境パートナーシップ事業助成)助成金の交付を申し込みます。

	整理番号	(記載不要)
事業名	地球温暖化のための環境学習プログラムの開発	
要望金額	100千円	

No	申請する団体		
1	(フリガナ) 団体名	エヌピーオーホウジン〇△◇ NPO 法人 〇△◇	代表者氏名 ×× ×× 印

No	パートナーとして事業を行う団体		
2	(フリガナ) 団体名	カンキョウヲ〇×スルカイ 環境を〇×する会	代表者氏名 印
3	(フリガナ) 団体名		代表者氏名 印

事業の趣旨・目的	<p>「NPO 法人〇△◇」は以前より主に地球温暖化防止活動に取り組んでおり、この分野の知識経験が豊富である。また、「環境を〇×する会」では、主に幼児・児童向けの環境学習講座を地域の方々を対象にして開催してきた。</p> <p>広く地球温暖化防止について啓発するために、両団体の得意分野の知識・ノウハウを共有して一般市民向けの「地球温暖化防止のための環境学習プログラム」を開発する。</p> <p>また、開発したプログラムを活用し、それぞれの団体で、あるいは協働で地球温暖化防止に関わる環境学習会を開催する。</p> <p>さらに開発したプログラムは広く公開することとしている。</p>
----------	---

申請団体名:NPO 法人 ○△◇

事業内容	<p>(1)「NPO 法人○△◇」と環境を○×する会」が協働して、地球温暖化防止のための環境学習プログラムを開発。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両団体が持っている実績の情報公開、共有を行う。 ・ 地球温暖化防止活動のノウハウと環境学習の実践活動の融合 ・ 大人から子どもまで学べるプログラムの研究開発 ・ プログラム案の作成 ・ 作成プログラムの実践 <p>(2)作成プログラム(案)の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間別のプログラムの開発(3日間、10日間、1ヶ月コースなど) ・ 様々な対象別に向けてのコースを開発する(小学生、大人、幼児向けなど) <p>(3)情報の公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両団体のHPでの公開
今年度(30年度)の活動により期待出来る環境保全創造効果	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習実施のの手助けとなるプログラムを開発することにより、県内の環境学習活動を活発化させることができる。 ・広く一般に公開、PR することにより、多くの団体等に活用してもらい、取り組んでもらえる。
次年度(31年度)以降の活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・開発した環境学習プログラムの実践活動を促進させるため、小学低学年、中学生向けの開発を行い、プログラムの細分化を図る。 ・両団体のHPでの公開に加えて、両団体が連携して実践講座を開催する。
補助金を必要とする理由	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業を両団体が連携し、かつ、広域的な内容とするため、貴協会からの助成を必要とするものである
他の団体に対する補助金等申請(予定)の有無	<p>団体名・助成名</p> <p>無し</p>
担当者及び助成通知文書やその他の郵便物の送付先等	<p>〒671-0000 (郵便物が届くように記載してください)</p> <p>〇〇市△△町〇〇〇</p> <p>電話番号 〇〇〇- 〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail 〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇</p> <p>団体名・部署・役職名 会長</p> <p>氏名 △△ ××</p>
<p>過去にひょうご環境保全創造活動助成金を受けたことがある場合 平成 年度の助成を受けた(全てを記載して下さい)</p>	

【注1】申込書は全項目記載して下さい。なお、「別紙参照」などとはせず、要点を絞った上で出来るだけ枠内に収めて下さい。

【注2】「担当者」欄は、申請内容についての問い合わせに対応ができ、通常の勤務時間(平日の概ね午前9時～午後5時)に連絡がとれる方とその連絡先を記入して下さい。

【注3】この申請書に記載された個人情報、本事業以外の目的で使用することはありません。様式2(5条関係)

その3

(以下は、環境パートナーシップ事業助成申請のパートナーの全ての団体がそれぞれの立場で記載してください。)

団 体 名	環境を〇×する会	代表者名 ×× ×× 印
協働する理由	かねてから地球温暖化防止活動について持っているノウハウを活かして広く啓発活動を行いたいと考えていたが、効果的な啓発活動を行うためにはよく練られた学習プログラムが必要であることから、環境学習の分野で経験が豊富な団体と協働してプログラムを開発したいと考えている。	
団体の役割	地球温暖化防止活動についてのノウハウを提供するとともに、環境学習プログラムの開発主体となる。 <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止活動についてのノウハウ提供 ・プログラムの取りまとめを行う ・作成プログラムの検討、修正等 ・HPでの公開 	
担 当 者	氏 名 〇〇 〇〇	TEL 079-〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail *****@+++++
過去にひょうご環境保全創造活動助成金を受けたことがある場合 平成 年度の助成を受けた(全てを記載して下さい)		

【注1】申込書は全項目記載して下さい。なお、「別紙参照」などとはせず、要点を絞った上で出来るだけ枠内に収めて下さい。

【注2】「担当者」欄は、申請内容についての問い合わせに対応ができ、通常の勤務時間(平日の概ね午前9時～午後5時)に連絡がとれる方とその連絡先を記入して下さい。

【注3】この申請書に記載された個人情報、本事業以外の目的で使用することはありません。

(各助成共通:記入例)

その1

様式2 (5条関係)

団体のプロフィール

(フリガナ) 団体名	(カショウ)〇〇ノモリツツクロウカイ (仮称)〇〇の森をつくろう会	代表者氏名 会長 △△ ××
主たる事務所の 所在地	〒未定 〇〇地域内で検討中	TEL: 未定 E-mail: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇
団体設立年月	平成〇年6月を予定	当協会団体会員の有無 (有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>)
		NPO 法人格の有無 (有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>)
組 織	組織の構成	会員等を有する場合は、その内容・人数
	会長 1名 会員 副会長 1名 会計 1名 監事 2名	個人会員 人 年会費 5,000 円 法人会員 法人 年会費 20,000 円 常勤のスタッフ人数 人 常勤の役職員の人数 人
団体設立の経緯	<p>平成〇年〇月に発足した市民・企業・行政の参画と協働による「〇〇の森づくり協議会」において、12月から「森」「まちづくり」「産業」「発信」の4つの部会に分かれて市民主体の活動を開始しており、現在は行政が事務局を担って運営しているが、市民がより主体的・戦略的に森づくりに関与していくためには、市民活動の組織を立ち上げ、その組織が事務局の一部を担うことで、「森づくり協議会」の運営にも参加していく必要がある。</p> <p>そこで、市民によって構成されるマネジメントグループが発足し、森づくりにおける「(仮称)〇〇の森をつくろう会」の検討を開始した。</p>	
目 的	<p>市民・企業・行政の参画と協働による「森づくり協議会」において、市民がより主体的に戦略的に森づくりに関与することを目的とする。</p> <p>そのために、設立予定の市民組織が事務局を担い、森づくり協議会の4つの部会による市民活動を部会横断的に支援するとともに、〇〇地域における環境共生型のまちづくりを中長期的視点により、企画・立案・調査を行う。</p>	
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「森づくり」の企画・立案・調査 ・行政との諸調整 ・市民への諸連絡・広報 ・資金確保 	

【注1】環境パートナーシップ事業助成申請のパートナーの全ての団体別に作成してください。

(スタートアップ支援助成:記入例)

その2

様式3 (第5条関係)

平成30年度 環境保全創造事業収支予算内訳書

団体名:〇〇の森をつくろう会

区 分		予算額(千円)	内 訳
収 入 の 部	自 己 資 金	400	会費収入: 個人会員(@ 5,000×20人) 法人会費(@30,000×10法人)
	他の助成金等	0	
	ひょうご環境保全創造 活動助成金(申込額)	200	
	総 額	600	
区 分		予算額(千円)	経費内訳
支 出 の 部	組織立ち上げ準備 のための会合	225	資料作成費 @200円×20人×15回= 60,000円 交通費 @2,000円×4人×15回=120,000円 会場費 @3,000円×15回= 45,000円
	組織設立申請準備	45	資料作成費 @500円×50人×1回= 25,000円 会場費 @20,000円×1回= 20,000円
	事務所備品	100	会議テーブル @20,000円×2台=40,000円 椅子 @10,000円×6脚=60,000円
	その他活動準備費	80	通信費 @3,000円×12ヶ月=36,000円 会員募集リーフレット郵送費 @80円×50人×4回=16,000円 会員募集用リーフレット作成費 @28円×1000枚=28,000円
	小 計	450	
自己資金等 充当経費	事務所賃貸料	150	@50,000円×3ヶ月=150,000円
小 計	150		
総 額	600		

【注1】(1)スタートアップ支援助成については、団体にかかる全ての収支予算を記入し、当助成金の対象となる事業とそうでない事業を分けて記載してください。

【注2】(2)環境保全創造事業助成、(3)環境パートナーシップ事業助成については、申請事業にかかる予算のみ記載してください。

【注3】謝金については、20,000円を上限とし、これを上回る謝金の場合は、理由書を添付してください。

(環境保全創造事業助成・環境パートナーシップ事業助成:記入例)

その2

様式3 (第5条関係)

平成30年度 環境保全創造事業収支予算内訳書

団体名:〇〇の森をつくろう会

区 分		予算額(千円)	内 訳
収 入 の 部	自 己 資 金	45	会費収入:本事業を実施するため、当会会員および関係 団体の会費・寄附等 個人会員(@1,000×15人) 賛助会員(@10,000×3団体) 子ども〇〇〇円×〇〇名
	参加費収入	265	
	他の助成金等	0	
	ひょうご環境保全創造 活動助成金(申込額)	180	
	総 額	490	
区 分		予算額(千円)	経費内訳
支 出 の 部	講師謝金	60	〇〇〇〇氏 20,000円×3日=60,000円
	サポーター謝金	50	10,000円×5名=50,000円 (〇〇氏、〇〇氏、〇〇氏、〇〇氏、〇〇氏、)
	旅費	30	講師事前打ち合わせ旅費 5,000円×3回 サポーター打ち合わせ旅費 1000円×3回×5名
	宿泊費	21	3,600円×6名=21600円(講師1名、サポーター5名)
	チラシ印刷費	10	10円×1000枚
	通信運搬費	4	80円×500枚
	消耗品	5	
	小 計	180	
	自己資金等 充当経費	88	こども 2,200円×40名 事務局 3,600円×6名
	食費	185	3,700円×50名
保険料	25	300円×50名	
会議費	9	会議お茶代 300円×3回×10名	
栄養食	3	飴、チョコレート等	
小 計	310		
総 額	490		

【注1】(1)スタートアップ支援助成については、団体にかかる全ての収支予算を記入し、当助成金の対象となる事業とそうでない事業を分けて記載してください。

【注2】(2)環境保全創造事業助成、(3)環境パートナーシップ事業助成については、申請事業にかかる予算のみ記載してください。

【注3】謝金については、20,000円を上限とし、これを上回る謝金の場合は、理由書を添付してください。

(各助成共通:記入例)

様式4(第5条関係)

平成29年度 収支決算内訳書(見込み)

団体名:エコライフに取り組む〇〇の会

	区 分	決算額(円)	内 訳
収 入 の 部	自 己 資 金	42,000	会費収入:個人会員(@1,000×12人) 賛助会員(@10,000×3団体)
	他の助成金等	5,000	前年度繰越金
		50,000	地元企業からの協賛金(@50,000×1)
	総 額	97,000	
支 出 の 部	区 分	決算額(円)	事業内容・経費内訳
	ライフスタイル見直し活動	5,800	日々の生活を見直し、改善するために電気・ガス・水道・ガソリンの使用量・料金のチェックをする。 ○チェック用ノート代: @150×12冊=1,800円 ○その他事務費・通信費:4,000円
	環境学習会の開催	59,000	地区住民を対象にした環境学習会を開き、理解を深めるとともに今後の活動の参考とする。 ○講師謝金:@15,000×2回 ○会場使用料:@10,000×2回 ○資料印刷費:@100円×50枚=5,000円 ○郵送費:@50×80=4,000円
	会報の発行	27,200	当会の活動報告や行事の予定等を掲載する。 ○作成費:@40×50×4回=8,000 ○郵送費:@120×40ヶ所×4回=19,200
	総 額	92,000	

収 入 97,000円

支 出 92,000円

差 引 5,000円 (平成30年度に繰り越し)様式4(第5条関係)

30年度への繰越額を助成対象事業に使わない場合は、その用途計画を説明して下さい(様式自由)。

ひょうご環境保全創造活動支援助成金 申請様式

☆申請書類は、申請内容がよくわかるように、丁寧に作成してください。

☆提出書類は片面印刷としてください。(両面印刷しないでください。)

☆提出書類はホッチキス留めしないでください。

平成30年度 ひょうご環境保全創造活動助成金交付申込書

平成 年 月 日

(公財)ひょうご環境創造協会理事長 様

下記の環境保全創造活動を行いたいので、ひょうご環境保全創造活動助成金交付要綱第5条の規定に基づき()助成金の交付を申し込みます。

整理 番号	(記載不要)
----------	--------

事業名	
要望金額	千円

No	申請する団体	
1	(フリガナ) 団体名	代表者氏名 印

No	パートナーとして事業を行う団体	
2	(フリガナ) 団体名	代表者氏名 印
3	(フリガナ) 団体名	代表者氏名 印

事業の趣旨・目的	
----------	--

申請団体名:

事業内容	
今年度(30年度)の活動により期待出来る環境保全創造効果	
次年度(31年度)以降の活動予定	
補助金を必要とする理由	
他の団体に対する補助金等申請(予定)の有無	団体名・助成名
担当者及び助成通知文書やその他の郵便物の送付先	〒 (郵便物が届くように記載してください) 電話番号 E-mail 団体名・部署・役職名 氏名
過去にひょうご環境保全創造活動助成金を受けたことがある場合 平成 年度の助成を受けた(全てを記載して下さい)	

【注1】申込書は全項目記載して下さい。なお、「別紙参照」などとはせず、要点を絞った上で出来るだけ枠内に収めて下さい。

【注2】担当者欄は、申請内容についての問い合わせに対応ができ、通常の勤務時間(平日の概ね午前9時～午後5時)に連絡がとれる方とその連絡先を記入して下さい。

【注3】この申請書に記載された個人情報、本事業以外の目的で使用することはありません。

その3

(以下は、パートナーシップ事業助成申請のパートナーの全ての団体がそれぞれの立場で記載してください。)

団 体 名		代表者名 印
協働する理由		
団体の役割		
担 当 者	氏 名 TEL E-mail	
過去にひょうご環境保全創造活動助成金を受けたことがある場合 平成 年度の助成を受けた(全てを記載して下さい)		

【注1】申込書は全項目記載して下さい。なお、「別紙参照」などとはせず、要点を絞った上で出来るだけ枠内に収めて下さい。

【注2】「担当者」欄は、申請内容についての問い合わせに対応ができ、通常の勤務時間(平日の概ね午前9時～午後5時)に連絡がとれる方とその連絡先を記入して下さい。

【注3】この申請書に記載された個人情報、本事業以外の目的で使用することはありません。

様式2(5条関係)

団体のプロフィール

(フリガナ) 団体名		代表者氏名
主たる事務所の 所在地	〒	TEL: E-mail:
団体設立年月		当協会団体会員の有無 (有・無)
		NPO 法人格の有無 (有・無)
組 織	組織の構成	会員等を有する場合は、その内容・人数
		個人会員 人 年会費 円 法人会員 法人 年会費 円 常勤のスタッフ人数 人 常勤の役職員の人数 人
団体設立の経緯		
目 的		
主な事業内容		

様式2(5条関係)

(以下は、環境パートナーシップ事業助成申請のパートナーの全ての団体が記載してください。)

(フリガナ) 団 体 名		代表者氏名
主たる事務所の 所在地	〒	TEL: E-mail:
団体設立年月	年 月	当協会団体会員の有無 (有・無)
		NPO 法人格の有無 (有・無)
組 織	組織の構成	会員等を有する場合は、その内容・人数
		個人会員 人 年会費 円 法人会員 法人 年会費 円 常勤のスタッフ人数 人 常勤の役職員の人数 人
団体設立の経緯		
目 的		
主な事業内容		

様式3 (第5条関係)

平成30年度 環境保全創造事業収支予算内訳書

団体名:

		区 分	予算額(千円)	内 訳
収 入 の 部		自 己 資 金		
		他の助成金等		
		ひょうご環境保全創造 活動助成金(申込額)		
		総 額		
支 出 の 部		区 分	予算額(千円)	経費内訳
	助 成 金 対 象 経 費			
			小計	
	自 己 資 金 等 充 当 経 費			
			小計	
		総 額		

【注1】(1)スタートアップ支援助成については、団体にかかる全ての収支予算を記入し、当助成金の対象となる事業とそうでない事業を分けて記載してください。

【注2】(2)環境保全創造事業助成、(3)環境パートナーシップ事業助成については、申請事業にかかる予算のみ記載してください。

様式 5 (第12条関係)

平成30年度 ひょうご環境保全創造活動助成金支払(概算払)請求書

金 円也
(助成金交付決定額 円)

事業名:

概算払いが必要な理由:

上記のとおり、助成金を概算払いによって交付されたく、ひょうご環境保全創造活動助成金交付要綱第12条の規定により請求します。

平成 年 月 日

(公財)ひょうご環境創造協会
理事長 様

(振込先)団体名

助成区分

代表者名

印

フリガナ
担当者名

電話番号

E-mail

協働団体名	
代表者名	印
電話番号	

協働団体名	
代表者名	印
電話番号	

助成金振込先	
①銀行名	
②支店名	
③口座種類	
④口座番号	
フリガナ ⑤口座名義	

※口座は代表等の個人の口座ではなく、団体名義の口座を記載して下さい。

平成30年度 ひょうご環境保全創造活動助成 活動実績報告書

平成 年 月 日

(公財)ひょうご環境創造協会
理事長 様

活動団体名	代表者名
	印
	印
	印

平成 年 月 日付環創エコ第 号で交付決定のあった()事業活動<応募区分()>を下記のとおり実施したので、ひょうご環境保全創造活動助成金交付要綱第12条の規定によりその実績を報告します。

記

1 活動の名称

2 活動の実施時期

3 活動の内容

様式7 平成30年度ひょうご環境保全創造活動実施内容書のとおり

4 収支の内訳

様式8 平成30年度事業収支決算内訳書 のとおり

5 添付書類

※事業の実施状況、成果物がわかる写真、ポスター、ちらし、報告書等を添付してください。

○担当者名 (本報告に対する問い合わせに対応していただける方)

○ // TEL

○ // E-mail

様式7

平成30年度 ひょうご環境保全創造活動実施内容書

団体名： 1. 活動の名称 (以下の項目は助成申請した事業について記載して下さい。)
2. 活動の趣旨・目的
3. 実施した内容
4. 実施による成果
5. 活動によって生じた問題点
6. 問題点に対する解決策

※所定の欄に書ききれない場合は、別の紙に記載してください。

(以下は、環境パートナーシップ事業助成申請のパートナーの全ての団体がそれぞれの立場で記載してください。)

団体名:	担当者 TEL E-mail	
7. 協働事業に取り組んだねらい		
8. 本事業における役割実績		
9. ねらいに対する実績評価		
10. 協働のメリット・デメリット		
11. 次年度以降の協働の計画		

平成30年度 事業収支決算内訳書

		区 分	決算額(円)	内 訳	
収 入 の 部		自己資金			
		他の助成金等			
		ひょうご環境保全 創造活動助成金 (決定額)			
		総 額			
支 出 の 部		区 分	決算額(円)	事業内容・経費内訳	領収書 No
		助成金対象経費			
		小計			
		自己資金等 充当経費			
		小計			
	総 額				

【注1】(1)スタートアップ支援助成については、団体にかかる全ての収支決算を記入し、当助成金の対象となる事業とそうでない事業を分けて記載してください。

【注2】(2)環境保全創造事業助成、(3)環境パートナーシップ事業助成については、申請事業にかかる決算のみ記載してください。

【注3】収入と支出の部の総額が一致するように作成してください。

様式9 (第12条関係)

平成30年度 ひょうご環境保全創造活動助成金支払(精算払)請求書

金 円也

上記のとおり、助成金を清算払いによって交付されたく、ひょうご環境保全創造活動助成金交付要綱第12条の規定により請求します。

平成 年 月 日

(公財)ひょうご環境創造協会
理 事 長 様

(振込先)団体名

助成区分

代表者名

印

フリガナ
担当者名

電話番号

E-mail

協働団体名	
フリガナ 代表者名	印
電話番号	

協働団体名	
フリガナ 代表者名	印
電話番号	

助 成 金 振 込 先	
①銀行名	
②支店名	
③口座種類	
④口座番号	
フリガナ ⑤口座名義	

※口座は代表等の個人の口座ではなく、団体名義の口座を記載して下さい。

ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団 体 名			
団体の所在地	(市区までで可)	代表者名	
1. 事業名			
2. 実施期間			
3. 主な実施場所			
4. 活動形態	・団体立ち上げ ・普及啓発活動 ・実践活動 ・調査活動 ・環境パートナーシップ事業 (協働団体名:) ・その他()		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	助成を受けて実施した活動内容を記載して下さい。		
6. 成果・反響・ 反省点等	環境保全活動としてどのような成果があったかを記載して下さい。		
7. 成果物	作成した「物」(教材、看板、木道等)、「物」ができる活動でなければ「なし」でよい		
8. 活動写真 説明 (20 字以内)	*写真は当協会ホームページ等に掲載しますので、肖像権・著作権の問題がクリアされたものをお願いします。 *HP掲載用は3枚までとし、できるだけ電子データを下さい。活動報告の写真を使う場合は、HPに掲載する写真を3枚まで指定して下さい。		

ご不明な点は、下記にお問合せください。

申し込み・問い合わせ先

(公財)ひょうご環境創造協会 環境創造部 環境創造課

〒654-0037 神戸市須磨区行平町3-1-18

TEL (078)735-4100

E-mai ecoplaza@eco-hyogo.jp

<http://www.eco-hyogo.jp>